

ひめだ高宏ニュース

NO.1328

21.2.9

市が県選出国会議員に要望

市・市長公室政策調整課から「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を県選出国會議員に提出した」との報告がありました。要望書の項目を紹介します。

○地域経済を牽引する事業者への支援について

■新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、和歌山市においても市内の事業者が受ける影響は甚大です。『として、次の3点を要望しています。』
1 持続化給付金及び家賃支援給付金の再度の実施

要件緩和

2 新型コロナウイルス関連融資の増額と要件緩和
3 雇用調整助成金の特例措置及び新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の対象期間の延長
○新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望
1 迅速な情報提供…ワフ

チン接種体制構築のため

2 派遣による看護師の医療行為…派遣による看護師でも医療行為が行えるよう特別な措置を

3 基礎疾患のある方の優先接種における運用の明確化…基礎疾患のない一般の方と同時期に接種券を送付することから、現場の混乱を避けるための進め方を

4 ワクチン接種の個人における判断に対する十分な配慮…接種率の公表に配慮を接種で受けないことで不利益にならないよう広報を

5 ワクチン接種における環境整備…ワクチン接種休暇など産業界への理解を

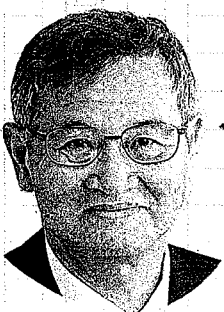
お詫言っております。

先週の「今週のフツーの人々」で「異和感」と書いた文章について、読者の方から「違和感」の指摘がございました。お詫言っております。

今週のフツーの人々 (その274)

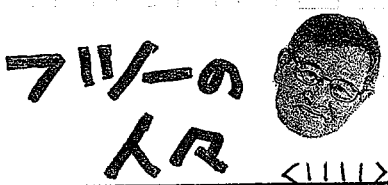
スガ首相の親心オヤオヤ

スガ首相の長男による総務省幹部への接待問題で、スガ首相や総務省は国会の質問に正面から答えず、疑惑の解明に不誠実な態度に終始しています。スガ首相は総務相時代に長男や大臣秘書官に任命し、現在その長男は放送事業を担う東北新社の社長。一方、総務省は放送事業の許認可権を持つ所管官庁です。長男と総務省の関係を取り持つ



ひめだ高宏

いる接待などはあるまいかと



フツーの人々

「フツーの人々」
「フツーの人々」
「フツーの人々」

「フツーの人々」
「フツーの人々」
「フツーの人々」

「フツーの人々」
「フツーの人々」
「フツーの人々」

「フツーの人々」
「フツーの人々」
「フツーの人々」

高齢者や障害者、子育て世帯にやさしい市政をめざします。

今どき小学生 くみちゃんの生活

by おおえだけいこ

● 日本の常識、世界の正義 ●



しんぶん赤旗日刊紙に月2回(1・3土曜)掲載中です。2月の日分を紹介いたします。

くみちゃん 日本共産党

何が問題かわかってない
日本共産党の田村智子
政務委員は昨日、国会
内で記者会見し、東京五
輪・パラリンピック組織
委員会の委員長長の女
性蔑視発言について「国

際的に進められている男女
平等・ジェンダー平等を否
定した発言だ。組織のトッ
プでいることがむしろいい
か、厳しく問われる」と指摘。
各氏が各競技団体の女性理
事の任用が進められている
ことに関して「文相者がうる
さく言うんですけど、なにと
言ってもこのことについて
全くの無理解だ」と批判。
女性差別撤廃条約に基づ
いて、2020年までに
指導的地位の女性の割合
を30%にする目標が国際
的にも定められている中
で「多くの国々は目標を
達成しているが日本は極
めて遅れている」と強調。
各氏の発言は政策決定の
場に女性の必要性を認め
ないものと批判。

潮流

「経済効率性だけを優先する社会でいいのか。地域で農業を全産の食糧物」を子孫に、この消費者の願いも合致します。▼コロナ禍でテレワークが普及する中、注目を浴びるのは子育て世代などである「田園回帰」です。「半農半X」という兼業就農も今です。半分の時間を農業に当て、残りの時間をX(はライムスター)に費やして趣味などに、とか▼歯止めのない農産物輸入自由化で食料自給率を下げ、命の源である種を、大企業に明け渡す。こゝろなアベノスガ農政を、日も早く断ち切り、家族農業を力に農山漁村を蘇らせ、食料自給率を高める農政への転換を待たない。市民・農民と野党の共闘を、希望の持続可能な社会を未来につなぐため。

経済効率性だけを優先する社会でいいのか。地域で農業を全産の食糧物」を子孫に、この消費者の願いも合致します。▼コロナ禍でテレワークが普及する中、注目を浴びるのは子育て世代などである「田園回帰」です。「半農半X」という兼業就農も今です。半分の時間を農業に当て、残りの時間をX(はライムスター)に費やして趣味などに、とか▼歯止めのない農産物輸入自由化で食料自給率を下げ、命の源である種を、大企業に明け渡す。こゝろなアベノスガ農政を、日も早く断ち切り、家族農業を力に農山漁村を蘇らせ、食料自給率を高める農政への転換を待たない。市民・農民と野党の共闘を、希望の持続可能な社会を未来につなぐため。

しんぶん赤旗 日刊日曜版の普及に協力せよ